

平成30年度事業報告

(平成30年1月1日～12月31日)

公益社団法人東京都ペストコントロール協会の会員の現況及び実施した主な事業は、次の通りである。

第1 会員状況

(30.12.31現在)

区 分 \ 年 度	30.1.1現在	30.1.1～30.12.31		現 在 員
		入会	退会	
正 会 員	116	2	2	116
賛助会員	7	0	0	7
合 計	123	2	2	123

第2 主な事業

ねずみ・害虫などの有害生物の被害に悩まされている都民の生活環境から有害生物を防除するとともに必要な防疫活動を行って、衛生的で快適な生活環境を保持増進させることにより都民の健康と福祉の向上に寄与することを目的として、次の事業を行った。

I 公益目的事業

1 ねずみ・害虫などの有害生物の防除及び防疫に関する調査研究事業

有害生物の生態、被害状況、防除法等全般について、都と連携・情報交換を含めた調査研究を行う。調査研究は、協会の調査研究グループ技術委員会が現場調査、有害生物関係の学会の発表、会員の研究成果等の資料の収集・分析、アンケート調査等を行うことにより進めた。その成果については、都内の防除防疫業者、都民、保健所、区市町村、その他関係者に情報提供し活用を図った。

(1) 緊急に対応が求められる衛生害虫等の情報収集と調査研究

ヒトスジシマカ等の感染症を媒介する衛生害虫及びヒアリ、アカカミアリ、アルゼンチンアリ、ハヤトゲフシアリ（ブラウジングアント）、ツマアカスズメバチ、セアカゴケグモ等の海外および発生地域から移入した有害生物等に関する情報を積極的に収集するとともに防除法等を調査研究して適切な防除対策等を都民に周知した。特にヒトスジシマカについては、都と連携して模擬殺虫などの実地訓練を継続し、より安全・効果的な駆除法を求めて調査研究を進めた。

(2) 害虫相談員ハンドブックの改訂

改訂は（公社）日本ペストコントロール協会と協同して作業を行い、29年度に完了した。平成30年度は広く改訂内容を紹介するとともに質問・疑問に対応して有効な活用を図った。

(3) ホームページ「害虫相談コーナー」の充実及び活用

都民からの害虫相談に役立つように、ねずみ、ハチ、ハクビシン等20種の害虫獣ごとに、その被害、侵入口、営巣場所、防除法等について調査研究しホームページに掲載している。平成30年度も引き続き、これらの害虫害獣全体を通して統一のとれた記述項目・記述内容となるように編集を進めた。併せて現在都民が関心を持っているシロアリ以外の木材害虫、アリ類を追加し、トコジラミではネツタイトコジラミを加筆し、ホームページに掲載する準備を行った。また、「害虫相談コーナー」を積極的に活用するよう、会員及び都民に呼びかけた。

(4) オリンピックに向けた予備調査

東京オリンピックが2020年に開催されるので、開催期間中の有害生物による感染症の発生や不快害虫の発生に備えて、オリンピック競技施設及び宿泊施設周辺において発生が考えられる有害生物の害種のハザードマップおよびリスクアセスメントを日本協会と協力して作成するとともに、東京都と連携し情報の共有を図った。

(5) 感染症対策実施計画書の拡充

「感染症予防衛生隊実施計画」に定めてある連絡体制、研修、資機材・薬品等について現実に運用しながら、実施計画の内容について問題点、不足部分、安全面、効率性等の視点から見直しした。

2 ねずみ・害虫などの有害生物の防除及び防疫に関する知識の普及広報事業

有害生物による被害を予防し被害を受けないように、都民を対象に有害生物の生態と防除法等に関する知識の普及広報を図る一方、現実に被害を受け悩まされている者からの相談に応じて適切な助言・指導を行う。

(1) 害虫相談所

① 害虫相談所における相談

協会は、有害生物の被害に悩まされている都民の相談に応じるため害虫相談所を設置し、相談員及び統括責任者が無料にて電話又は現地調査を実施して適切な助言、指導を行う。なお、相談者から施工の依頼があれば必要に応じて有償にて施工した。

また、食品の異物混入等の困難な同定とその結果に係わる報告書の発行依頼があったときにも、対応可能な相談所で取り扱った。

相談所設置数 73所

相談件数 8,305件

●平成30年度 害虫相談件数（1月1日～12月31日）

(1) 害虫種別・月別相談件数

名 称	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平成 29年	差引増 △減
ハチ類 (スズメバチ・ミツバチ以外)	1	5	22	51	150	287	793	731	268	181	44	11	2,544	2,354	190
ネズミ	178	134	143	113	173	165	111	128	174	236	269	199	2,023	1,925	98
スズメバチ	2	2	7	10	44	92	238	208	136	95	14	8	856	959	△ 103
ハクビシン	39	36	45	62	46	46	46	43	36	80	70	62	611	681	△ 70
ハト	7	15	20	32	51	63	33	43	15	24	13	21	337	257	80
シロアリ	8	2	8	28	30	29	19	16	9	21	8	6	184	211	△ 27
南京虫(トコジラミ)	2	4	3	9	11	17	28	29	20	23	15	5	166	161	5
アリ	0	2	0	11	18	31	37	7	7	10	1	0	124	120	4
鳥の巣	1	0	2	16	49	28	10	6	4	4	0	1	121	113	8
コウモリ	4	4	3	5	4	10	17	28	18	10	7	7	117	101	16
鳥	2	4	8	10	39	23	18	2	6	1	0	3	116	95	21
カラス	4	5	7	16	27	20	9	3	4	6	4	1	106	91	15
ヘビ	0	1	0	1	21	26	9	14	7	4	0	0	83	90	△ 7
ダニ	2	0	5	5	9	12	10	3	8	6	11	4	75	80	△ 5
樹木害虫	0	1	3	6	15	8	6	6	14	8	2	1	70	77	△ 7
ゴキブリ	1	2	5	2	4	7	11	9	3	7	6	2	59	69	△ 10
ハエ	1	1	3	4	10	9	8	4	2	5	3	3	53	61	△ 8
ネコ	1	2	1	4	6	9	7	6	2	4	4	3	49	40	9
アライグマ	2	2	6	5	8	8	1	1	5	4	3	2	47	38	9
タヌキ	0	4	5	3	8	6	6	4	1	3	4	2	46	38	8
ミツバチ	0	0	0	5	13	6	5	4	4	3	1	1	42	36	6
モグラ	4	1	2	1	0	2	2	1	1	7	4	0	25	32	△ 7
殺菌	1	0	2	2	1	1	2	7	3	1	2	2	24	24	0
ムカデ	0	1	1	2	0	6	4	2	1	0	0	0	17	17	0
蚊	0	0	0	2	3	3	2	3	0	0	1	0	14	16	△ 2
シバンムシ	0	0	0	0	2	0	4	2	3	1	2	0	14	13	1
タカラダニ	0	0	0	1	8	0	0	0	0	0	0	0	9	6	3
ノミ	0	2	0	0	0	1	0	2	2	0	0	1	8	4	4
キクイムシ	0	1	0	0	0	3	0	1	1	1	0	0	7	4	3
汚水	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	4	3	1
ユスリカ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	3	0
ウジムシ	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0
シラミ	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	1	1
死体臭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	3	10	8	6	20	24	24	11	28	13	6	154	176	△ 22
不明	9	11	4	23	21	22	26	20	12	21	10	14	193	149	44
合計	271	246	315	437	779	961	1,487	1,358	778	796	512	365	8,305	8,047	258

(2) 相談者住所別件数

千代田区	中央区	港区	新宿区	文京区	台東区	墨田区	江東区	品川区	目黒区
66	101	227	147	130	75	102	183	94	168
大田区	世田谷区	渋谷区	中野区	杉並区	豊島区	北区	荒川区	板橋区	練馬区
295	271	154	188	51	139	94	67	406	18
足立区	葛飾区	江戸川区							
256	133	297							
八王子市	立川市	武蔵野市	三鷹市	青梅市	府中市	昭島市	調布市	町田市	小金井市
274	29	140	157	171	333	195	294	687	216
小平市	日野市	東村山市	国分寺市	国立市	福生市	狛江市	東大和市	清瀬市	東久留米市
272	96	70	153	164	61	58	44	159	52
武蔵村山市	多摩市	稲城市	羽村市	あきる野市	西東京市	奥多摩町	檜原村	日の出町	瑞穂町
5	286	53	76	30	131	2	6	22	36
不明	他県								
331	40								

② 環境フェア等における相談

多くの区民（住民）が集まる環境フェア等に積極的に参加し、来場した区民（住民）から害虫防除の相談等を受けて適切な助言・指導をする他、防除知識の普及を図った。

会 場

あきる野市リサイクル環境コーナー、西東京市環境フェスティバル、府中環境まつり、調布市環境フェア、羽村市環境フェスティバル、東大和市環境市民の集い、こだいら環境フェスティバル、みなと区民まつり、環境フェスティバル（上野公園噴水広場）、むさしの環境フェスタ、中央区健康福祉まつり、町田市総合健康づくりフェア 等 12所

③ ねずみの防除指導

武蔵野市からの依頼により住民を対象にねずみの生態及び防除方法等について地域単位で講演会を開催し、必要に応じて現場調査及び簡易な防除施工等を行った。

④ リーフレットの作成及び配布

有害生物の生態及び防除方法等に関する内容が平易に記載されているリーフレット（シラミ、シロアリ、ダニ、ゴキブリ、ネズミ、ハチ、毒蛾の仲間、アリと甲虫類、カビ、ドバト、蚊、トコジラミ等12種）を印刷して保健所及び区市町村に配布し、害虫相談に訪れた住民の指導用の資料として活用してもらった。併せて「自治体の環境フェア（区民まつり）」等の来場者に配布し、害虫相談及び防除知識の普及に活用する。また、ホームページに掲載して広く情報を提供した。

規模 10,000部

(2) 第10回ペストコントロールフォーラム東京の開催

有害生物に関する学識経験者、行政の担当者等を講師に、東京都の後援のもとに武蔵野市と共催で、一般都民、施設・学校等の職員、行政担当者、会員等が参加するフォーラムを

開催した。参加費無料。

有害生物の防除、感染症の流行の仕組み及びその対策等についての知識の普及を図り、良好な生活環境を維持向上させることを目的としている。

なお、感染症予防衛生隊の必修研修及び害虫相談員の選択研修を兼ね、受講料は有料1人5,000円。

開催月日 平成30年7月6日（金）

会 場 武蔵野公会堂

参加人数 193名（一般37名、行政27名、会員129名）

演題及び講師（敬称略）

(1) 外来アリとその対策

ーアルゼンチンアリとヒアリを中心にー

東京大学名誉教授、帝京大学非常勤講師 田付 貞洋

(2) 東京都における感染症媒介蚊サーベイランスの結果

東京都健康安全研究センター

環境衛生研究科 環境微生物研究室 井口 智義

(3) 機関誌の発行

有害生物の防除防疫に関する専門的な知識及び技術等に関する話題について掲載し、東京都・区市町村、保健所、国会図書館、都内公立図書館、正会員、賛助会員、業界関係者等に無料配布し防除防疫知識の普及を図った。またホームページにも掲載し広く情報提供した。

規模 650部、年2回発行

特集と一般都民向け記事

2018年1月号 特集（公社）東京都ペストコントロール協会の今

質問の窓 なんでヒアリの事をあんなに騒ぐのですか？

都民の広場 「ヒアリ騒動」と外来生物問題

2018年7月号 特集 インフォームド・コンセント

質問の窓 HACCP って何ですか？

都民の広場 「HACCPの考え方に基づく衛生管理のための手引書（小規模な一般飲食店向け）」の解説

技術の窓 「野良猫にお困りではありませんか。」

3 ねずみ・害虫などの有害生物の防除及び防疫に関する技術の向上

有害生物の防除及び防疫活動の従事者等を対象に、専門家として必要な最新の知識及び技術を修得するための研修会を開催した。

(1) 第38回防除作業従事者研修会

協会員及び協会未加入の防除防疫作業の従事者、保健所及び区市町村の職員、都民等を対象に開催した。協会は建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則第29条第4号口に規定する防除作業従事者研修登録機関として厚生労働省に登録し、かつ講師についても登録している。防除防疫作業に必要なレベルの内容について研修した。受講料は1人6,480円。防除防疫従事者以外の受講者は無料。

開催月日 平成30年6月8日（金）
 会場 エッサム神田ホール2号館
 受講者数 131名（会員87名、非会員18名、26名）
 カリキュラム

（敬称略）

第1時限	建築物の環境衛生行政	東京都健康安全研究センター広域監視部 建築物監視指導課建築物衛生担当 主任 松井 隆一
第2時限	防除作業者の責任と任務	（公社）東京都ベストコントロール協会 副会長 元木 貢
第3時限	PCOと国際情勢	鵬凶商事(株) 顧問 岩本 龍彦
第4時限	防除に使用する機器類	協栄産業(株) 営業部 鈴木 良康
第5時限	殺鼠剤の種類と使用方法	環境機器(株) 営業支援室長 足立 行男
第6時限	殺虫剤の種類と使用方法	環境機器(株) 営業支援室長 足立 行男
第7時限	防除作業の安全及び衛生	（公社）東京都ベストコントロール協会 理事 渡邊 徹

(2) 害虫相談所研修会

2019年度開設予定の害虫相談所統括責任者及び相談員を対象に最新の防除防疫知識及び技術の修得と併せて、相談者（都民）からのアンケート結果を基に害虫相談所の適切な運営を図ることを目的として研修会を開催した。

開催月日 平成30年12月14日（金）
 会場 T K P 神田ビジネスセンター
 相談所数 72所
 受講者数 統括責任者74名（2所2人）
 相談員93名（他に13名が既に2科目受講済み）

カリキュラム

（敬称略）

第1時限	平成30年度 害虫相談所報告 （相談件数、苦情、感謝状贈呈 等）	害虫相談委員長 藤田 洋三
第2時限	ハクビシン・アライグマについて	会長 清水 一郎
第3時限	ヒアリとアルゼンチンアリについて	イカリ消毒株式会社 富岡 康浩
第4時限	木材害虫について	技術委員 渡邊 賢太郎
第5時限	ネコについて	感染症委員長 渡邊 徹
第6時限	トコジラミについて	技術委員 木村 悟朗
第7時限	害虫相談所規定の改正等について 質疑応答	害虫相談委員 大山 克幸 害虫相談委員 松永 肇

(3) 感染症予防衛生隊の研修

感染症の発生予防及びまん延を防止することを目的として設置されている感染症衛生隊が、隊員の安全を確保しつつ効果的に消毒業務を遂行できるように研修を行った。

① 「研修感染症予防衛生隊実施計画」に基づく研修

i 第1回

開催月日 平成30年5月28日（月）
 会場 アルカディア市ヶ谷
 受講者数 42名（登録済み衛生隊18隊36名、登録予定3隊6名）

カリキュラム (敬称略)

第1時限	ノロウイルスについて	国立医薬品食品衛生研究所 野田 衛
第2時限	事例報告（救急車・水害対応）	感染症委員 蒲田 春樹
第3時限	殺虫剤散布試験結果について	技術委員 佐々木 健
第4時限	感染症対策実施計画書について	副会長 元木 貢
第5時限	連絡体制の整備について	感染症委員長 渡邊 徹
第6時限	活動実績について	感染症委員長 渡邊 徹

ii 第2回

開催月日 平成30年10月30日（火）
 会場 アルカディア市ヶ谷
 受講者数 44名（登録済み衛生隊18隊36名、登録予定3隊6名、技術委員2名）

カリキュラム (敬称略)

第1時限	感染症対策 総論 I （東京都感染症マニュアルの解説）	東京都福祉保健局健康安全部 感染症対策課 赤木 孝暢
第2時限	防護服及び呼吸用保護具の取り扱い 方法と着脱訓練	株式会社 重松製作所 東京営業所 所長代理 和田 恵太
第3時限	蚊防除に使用する薬剤・器材について 作業性について事例報告	鵬図商事(株) 芝生 圭吾 アベックス産業(株) 佐々木 健

iii ペストコントロールフォーラム東京への参加（7月）

34名

② 東京都が平常時において実施する感染症媒介蚊のサーベイランス事業のうちの蚊の捕集及び捕集した蚊の健康安全研究センターへの搬入

・重点サーベイランス（9公園）

デングウイルス、チクングニアウイルス、ジカウイルス

・広域サーベイランス（16公園等）

ウエストナイルウイルス、デングウイルス、チクングニアウイルス

ジカウイルス、マラリア

4 ねずみ・害虫獣などの有害生物の防除及び防疫活動

都、区市町村、東京消防庁等の行政等からの要請により、感染症予防衛生隊が出動し、感染症の発生予防及びまん延防止のための殺虫殺菌消毒薬の散布作業を行う。

感染症委員会担当の副会長・担当理事を中心に速やかに出動できる体制を整えている。

また、東京都が平常時において実施する感染症媒介蚊のサーベイランス事業のうちの蚊の捕集及び捕集した蚊の搬入業務を受託した。

現在協定、契約を結んでいる行政等は次のとおりである。

- (1) 東京都福祉保健局との協定
 - ① 「一類感染症等患者移送車両等の消毒業務に関する協定」

平成26年11月5日に締結。消毒業務に対する協会の協力に関する協定
消毒業務の範囲は患者移送後の搬送車、航空機、移送用陰圧装置（アイソレータ）並びに病原体に汚染された（疑いのある）場所
 - ② 「蚊が媒介する感染症の発生に備えた蚊の駆除業務等に関する協定」

平成22年3月26日に締結。蚊が媒介する感染症患者が発生したとき等に必要となる蚊の生息状況調査及び蚊の駆除等の業務に関する協会の協力に関する協定
- (2) 東京消防庁との協定
「救急車等の消毒業務に関する協定」

平成24年12月1日に締結。
感染症の疑いのある傷病者を搬送した救急車等の消毒業務の実施に関する協定。
- (3) 特別区との「感染症消毒作業委託契約」（区の事情により年度ごとに契約区数が異なる。）

区からの要請により感染症の患者発生宅等の消毒業務を行う。
実績 細菌性赤痢の消毒（12月 葛飾区）
- (4) 台風、集中豪雨等による洪水、地震等の災害発生時の消毒作業
新宿区、港区、中野区、渋谷区、目黒区と協定・契約
- (5) 武蔵野市との協定
「蚊が媒介する感染症の発生に備えた蚊の駆除業務等に関する協定」

平成27年3月31日に締結。蚊が媒介する感染症患者が発生したとき等に必要となる蚊の生息状況調査及び蚊の駆除等の業務に対する協会の協力に関する協定。
- (6) 多摩市との協定
「蚊が媒介する感染症の発生に備えた蚊の駆除業務等に関する協定」

平成29年3月27日に締結。蚊が媒介する感染症患者が発生したとき等に必要となる蚊の生息状況調査及び蚊の駆除等の業務に対する協会の協力並びに技術的助言等に関する協定。
- (7) 輸入動物の届け出制度に係る東京検疫所に対する協力
東京検疫所の要請により平成17年10月20日に協定を締結。
動物由来の感染症の国内侵入防止のため、旅行者が輸入する動物のうち、輸出国政府機関の衛生証明書のない動物を本人の承諾のもとに早急に殺処分する。

II 収益事業等（その他の事業）

1 ブロック会の開催

協会活動の充実と発展を目的に、5ブロック合同で協会執行部と会員間の意見交換、連絡、会員間の情報交換の他、防除防疫に必要な最新の薬剤、資器材、感染症等に関する研修等を行った。

開催月日 平成30年7月18日（水）

参加人数 75名（正会員61名、賛助会員12名、事務局2名）

2 団体賠償責任保険加入事務等

会員が施工する有害生物の防除及び防疫業務に伴うリスクをカバーする保険（請負業者賠償責任保険・生産物賠償責任保険）に団体加入する事務続きを行った。

加入会員 51社

3 創立50周年記念事業の実施

(1) 実行委員会を設置して事業の内容等について検討を行い、協会創立50周年事業を実施した。

① 記念式典等

開催月日 平成30年11月22日（木）

会 場 如水会館（千代田区一ツ橋）

参 加 者 記念式典 142名

祝賀会 138名

② 記 念 誌 450部発行

(2) 2028年に協会の創立60周年記念事業を実施するための費用を積み立てた。

Ⅲ 管理運営事項

1 理事会の開催

定款に定める事項、総会の議決した事項の執行に関する事項、総会に付すべき事項、その他会務の執行に関する事項等について会議を開催し議決した。

規 模 年回開催

開催月日	主な議題	会場
1月29日 (第1回)	・平成29年度事業報告（案）及び収支決算報告（案）の承認 ・監査報告 ・平成30年度害虫相談所設置承認 ・入会審査	アルカディア 市ヶ谷
2月23日 (第2回)	・代表理事及び専務理事の選定 ・副会長の承認 ・名誉会長及び顧問の選任	
4月4日 (第3回)	・平成30・31年度理事会組織 ・感染症予防衛生隊の登録承認 ・協会創立50周年記念事業実行委員会の設置	
5月16日 (第4回)	・害虫相談委員会委員の委嘱 ・感染症委員会委員の委嘱 ・第10回ベストコントロールフォーラム東京の開催	
6月20日 (第5回)	・特定外来生物生息モニタリング調査受託 ・従事者研修会	
7月18日 (第6回)	・平成30年度空港でのヒアリ確認調査業務受託	
9月19日 (第7回)	・創立50周年記念事業知事感謝状の交付申請 ・写真の使用承認	
10月17日 (第8回)	・害虫相談事業に対する協力会社への感謝状贈呈 ・平成31年度事業計画（案）及び収支予算（案）の作成準備	
11月14日 (第9回)	・平成31年度事業計画（案）及び収支予算（案）の決定 ・害虫相談所規程の改正 ・入会審査	

2 総会の開催

定款に定める事項、事業計画、事業報告、その他協会の運営に関する重要な事項について会議を開催し議決・承認した。

平成30年2月23日（金）

- ・平成29年度事業報告及び収支決算報告の承認、監査報告、役員改選

平成30年12月14日（金）

- ・平成31年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて決定

3 事業活動

理事会に、総務委員会、害虫相談委員会、感染症委員会、技術委員会、編集委員会、創立50周年記念事業実行委員会を設置して協会の活動案を作成し、理事会の承認後会員の協力を得て事業を執行した。